

平成29年度 一般会計歳入歳出 決算認定に対する討論 (要旨)

●詳細は、目黒区議会会議録または区議会ホームページの「会議録閲覧・検索」をご覧ください。

反対

暮らしの負担増やめよ！保育の質押し上げてきた区立園廃止反対！

日本共産党目黒区議団 森美彦 議員

暮らしの負担増。一般会計繰入れを減らし国保料を大幅値上げした。子どもの均等割ゼロに。保育料値上げは無償化の流れに逆らう。リフト付き福祉タクシーを障害者の声に背き廃止した。生活保護費削減を区長は事実上容認した。実態把握しないで税や保険料の差押を進めた。私立園の法定指導検査体制と保育の質ガイドラインをつくれ。発達障害児などを受け入れ全体の保育の質を押し上げてきた区立園廃止やめよ。認可園に940人も入れず、隠れ待機児は152人も増えた。介護サービスの保険外しと保険料・利用料負担増に

対し、区独自軽減策が不十分。児童虐待ゼロへ子育て支援充実と児童相談所開設年度を明らかにせよ。耐震促進、感震ブレーカーや火災警報器の予算残が多く、耐震診断助成を無料に戻すなどの工夫が不足。地域コミュニティづくりは、住民自治の確立という基本構想の理念を堅持せよ。区民センター見直しは、民間活用にシフトする前に住民参加で方向性を検討せよ。自由が丘のまちづくりは、情報の共有を図り住民参加で進めよ。首相改憲発言に対し平和憲法擁護宣言区の長としてきっぱり反対せよ。

賛成

重要課題への予算の重点化は不可欠。区民のための施策見直しを。

自由民主党目黒区議団 西村ちほ 議員

区の財政状況は楽観できない。諸課題を丁寧に拾い上げ、優先度とバランスを適切に判断し、スピード感をもって実行することが、区の使命である。防災・防犯対策では、災害用トイレの整備や、防犯カメラ・特殊被害許欺対策など、積極的な姿勢が伺える。子育て支援には重点的に取り組み待機児童数は減少したが、油断することなく、学童保育や児童館についても一層の推進を求める。高齢者・障害者福祉についても施設整備に着手するなど、各種課題に取り組んだ全体を評価するが、施策の見直し、重要課題への予算の重点化、早期

決断と実行は、今後も不可欠である。以下重要事項。区有施設の見直し計画は区の財政と未来像に大きく影響するため、戦略的に熟慮することを求める。町会自治会等コミュニティの活性化へ財政支援と、専管部署への人材と予算の強化を求める。東京2020大会に向けては、形ではなく区民の心に何を残すのかを重視されたい。児童虐待を防ぐ全力の取り組みが必要。真に子どもを守る児童相談所開設へ前進せよ。真摯な受け止めと一層の努力を要望し、本決算に賛成する。

反対

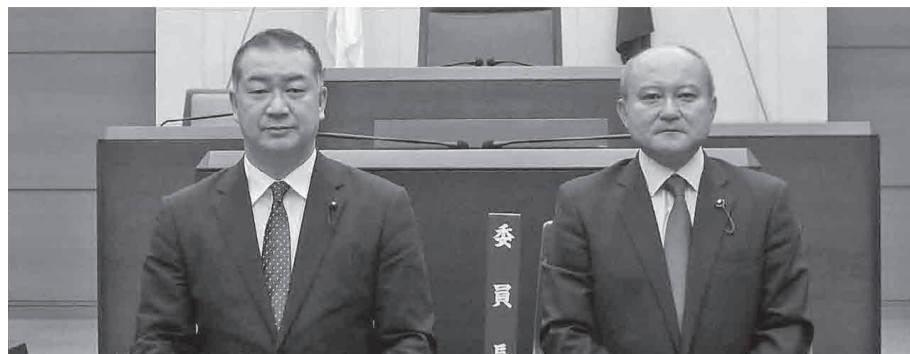
①目黒ムダ遣い多い②「理事者」「請願・陳情」「インターン」？

須藤 甚一郎 議員

目黒区はなぜムダ遣いが多いのか？私は平成29年度の一般会計決算認定も反対だ。2020年東京オリンピックを理由に中央体育館改修(17億円余)など、減多やたら使うが、変だぞ。目黒区民には通じない「理事者」「請願と陳情は同じ」「インターン」などの

用語が跋扈(ばっこ)している。「理事者」は地方自治法には存在しない定義もない。請願は地方自治法124条にあり、議員の紹介で請願書を提出し要求を願い出ること。陳情は地方自治法にない。「インターン」は区議会議員が自らの責任で使う外部の者のことだ。

決算特別委員会 正副委員長



関けんいち副委員長

橋本欣一委員長

賛成

地域に根差す「共生社会」構築を目指して

公明党目黒区議団 武藤まさひろ 議員

今年4月から約3カ月間にわたって、公明党の全議員が地域に赴いて調査運動を行いました。子育て、介護、中小企業、そして防災・減災。この四つのテーマでアンケートを行い通して見えたものは、国民の生活不安や多様なニーズを実感したことです。また、このアンケートを元に質疑も致しました。今後の区の課題としては、ふるさと納税や法人住民税一部国税化による減収影響、扶助費などの経常的経費の増加、大きな経費がかかる区有施設の見直し、そして2025年には団塊の世代が75歳になります。多くの難題が待ち受ける状

況をどう切り開いていくのか。区長を中心に区として真剣に取り組む必要があります。さまざまな課題を解決するためにも、まずは、区民としての立場を思い返し、現場主義を徹底して、施策に取り組むことが原点ではないでしょうか。そして私たちがめざす社会像は、地域に根差す「共生社会」の構築だと言えます。自助、公助、共助と言われるが、特に共助の部分は、発展・進化させる取り組みが中長期的に重要であります。支え合いあえる目黒区を目指すことを要望し、平成29年度一般会計決算の認定について賛成致します。

賛成

「削ることの見える化」を。

立憲民主・区民クラブ 西崎つばさ 議員

各財政指標は良好で、基金も上積みできており、財政状況は前年度に引き続き改善したと言える。経常収支比率は適正とされる範囲を超えているが、それは50年も前に提唱された数値であり、現在の社会構造に合わない。真に必要なところには資源を投入すべきである。一方、財政構造の変化には留意すべきで、扶助費の増を人件費や公債費の

減で吸収する限界点は近づいている。今後の財政運営を見据え「削ることの見える化」を心がけ、優先順位の低い事業を終わらせていくことが重要だ。かつてないほど関心の高まっている防災や、子育て支援、教育、福祉などこれまでの取り組みの成果を検証し、課題に真摯に向き合うことを要望し、決算の認定に賛成する。

賛成

防災面では情報提供の訓練を！事業評価は住民視点の数値評価を！

日本維新の会目黒区議団 山本ひろこ 議員

防災面では、簡易版HPへの切り替えや、通信の確保等、住民への迅速な情報提供をするための訓練と、要配慮者への個々の支援計画が必要である。また、目黒川には氾濫対策を行うと共に、好立地の舟入場の利活用を求めた。行政サービス面では、区の事業に数

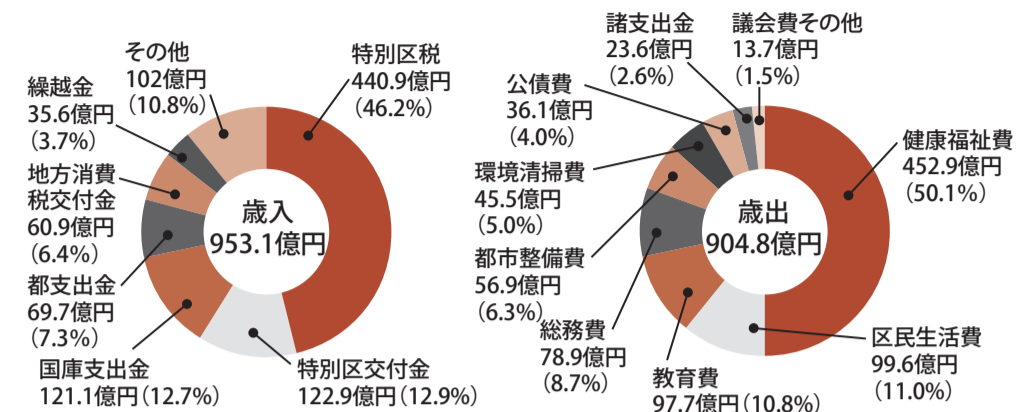
値目標がなく、評価が抽象的すぎる点を指摘。保育園のサービス品質については、毎年の第三者評価の受審と、区のHPでの公表を通じた、住民視点での評価を訴えた。福祉費増大の今こそ、各種事業をうまく小さくするための真摯な努力を！

平成29年度 各会計 歳入歳出決算のあらまし

各会計の決算額、一般会計決算の内訳の概要は、図表のとおりです。(図表の数値は、四捨五入をした関係で、一部合計が合わない場合があります。)

		(単位:億円)		
		平成29年度	平成28年度	増減率(%)
一般会計	歳入	953.1	944.5	0.9
	歳出	904.8	909.0	△0.5
国民健康保険特別会計	歳入	297.4	303.7	△2.1
	歳出	294.4	300.7	△2.1
後期高齢者医療特別会計	歳入	61.8	61.1	1.1
	歳出	61.4	60.9	0.9
介護保険特別会計	歳入	199.8	193.3	3.4
	歳出	193.4	188.3	2.7

一般会計決算の内訳



賛成

多様な区民ニーズに対応するためにも、メリハリある施策展開を！

小沢 あい 議員

平成29年度目黒区一般会計歳入歳出決算が適切に執行されたものと判断し賛成する。国による税制改正、さらには2020東京オリンピック・パラリンピッ

ク後の景気後退懸念など変化の激しい時代に多様化する区民ニーズに対応するためにも、ますます効率的な区政運営を期待する。

賛成

10年後20年後を見据えて、次の世代へバトンを渡していくために

竹村 ゆうい 議員

安全・安心なまちづくりを進めていくことは、起り得る事態の一手二手先を読み、過去の想定を改め、損害を最小限に抑えるために事前対策・応急対応・事後対応をしっかりと固め、その安定性と継続性の確保によって人々から信頼を寄せていただくことを絶えず

目指すものである。今後はますます歳入面での減収が見込まれるからこそ、目黒区の既存事業を時には見直し、時には取捨選択をしながら、中長年に渡る持続可能な財政運営と区民サービスを10年先も20年先も続けていただくことを強く要望する。

賛成

問題提起に対する活発な議論と自治体の長としての信念を求める！

たそえ 麻友 議員

6日間の審議において、私を含め複数の議員から問題提起が行われた。ゲリラ豪雨やブラックアウトを想定した総合治水対策基本計画や地域防災計画の見直し、ティーンエイジャーへの予期せぬ妊娠防止や性教育など自らの身を守るための支援、そして何より

も財政の備えについて活発な議論を求める。また、目黒区が創意工夫しているふるさと納税の返礼品に対して、総務省からの妨げるような通知への対応を自治体の長として信念を持って取り組むことを要望する。

賛成

つながりあい、支えあえる地域社会を市民との協働で

広吉 敦子 議員

区財政が厳しい中、園庭のない保育園の園児をバスで公園に送迎する事業や平町児童館と烏森第二学童保育クラブの開設は、子どもの外遊びと居場所が確保されるため、評価する。さらに外遊びは地域と連携し見守りの体制づくりを。今後の計画づくりには子ども参

画で。発達障害支援拠点「はると」では地域ニーズの掘り起こしと障がい者の自立支援に活かすこと。コミュニティの拠点ともなる公園での野菜作りや農地を残すための援農ボランティアや農地貸出などを見越した取り組み等を行い、緑化及び環境保全をめざすこと。

区議会インターネット中継をご利用ください

目黒区議会ホームページでは、本会議、予算特別委員会、決算特別委員会のインターネットによるライブ中継・録画の中継を行っています。スマートフォン等でもご覧いただけます。録画中継は、会議終了後4日程度(土曜、日曜、祝日を除く)でご覧いただけます。録画中継の公開期間は1年間です。<問い合わせ> 区議会事務局広報係 ☎03-5722-9415



さらに詳しく会議の内容を知りたいかたは、ホームページ内の「会議録閲覧・検索システム」をご利用ください。●本会議、予算特別委員会、決算特別委員会(平成13年4月以降)なお、上記の会議録は、区内の図書館や総合庁舎本館1階の区政情報コーナーでも閲覧できます。●各常任委員会、特別委員会、議会運営委員会(平成20年4月以降)<問い合わせ> 区議会事務局議事・調査係 ☎03-5722-9414

「平成30年7月豪雨災害義援金」「平成30年北海道胆振東部地震義援金」をお渡しました

平成30年7月に西日本を中心とする豪雨災害及び平成30年9月に北海道で発生した震度7を観測する大地震により亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。(詳細はホームページをご覧ください)

目黒区議会では、7月11日、13日及び31日に区内等鉄道7駅で平成30年7月豪雨災害義援金の募金活動を行いました。8月2日及び3日に、おのせ康裕議長と佐藤ゆたか副議長が、愛媛県ほか9府県(岐阜県、京都府、兵庫県、島根県、岡山県、広島県、山口県、高知県、福岡県)の東京事務所を訪問し、募金活動で寄せられた義援金と各議員から集めた義援金をおわたした1,195,353円をお渡しいたしました。



(中目黒駅)



(愛媛県東京事務所にて県知事へ)



(学芸大学駅)



(札幌市東京事務所にて東京事務所長へ)

議員写真展

芸術の秋、議員写真展が開かれます。回を重ねて30回目となった今年の写真展のテーマは、【メイド・イン・ジャパン】です。議員活動の合間をぬって撮影したもので、毎年秋に開催しています。今年も目黒区議会議員等の力作が展示されますので、お気軽にお立ち寄りください。

【開催日時】 11月22日(木) 12:30~16:00
26日(月)~29日(木) 10:00~16:00
30日(金) 10:00~15:00

【会場】 目黒区総合庁舎本館5階 区議会第一会議室
主催: 目黒区議員美術同好会 協賛: 目黒区議会議員文化会

